

令和8年度 江戸川区立南篠崎小学校 学校関係者評価報告書

学校教育目標	・よく考え 進んで学ぶ子ども ・心身ともに たくましい子ども		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・組織で動く みんなで動く ・人を大切にする力 自分の考えをもつ力 自分の考えを表現する力 チャレンジする力 ・お互いが学び合える 相談し合える 互いを尊重し励まし合える教職員集団
前年度までの本校の現状	成果	校内研究授業等を通して、国語科を中心とした基礎学力の向上に励んだ。児童への学校評価最終アンケートでは、「自分の考えをすすんで表現することができる」の肯定的回答が76%、「めあてをもちすすんで学習することができる」の肯定定期回答が81%だった。教員の授業改善に励んだ取り組みが児童の意欲向上につながった。	課題	・学力調査の結果を見ると、令和6年度から令和7年度を比較するとどの学年も平均正答率は上がっているが、全国を「1」とした場合の様子を見ると、わずかに下回っている学年もあった。正答率が低い領域を中心に、朝学習やドリルタイムの時間などを有効活用していく。 ・読書科への取り組みが不十分だった。「読書科＝自由読書ではない」ことを全教員で共通理解し、再度、区が作成した読書科ノートや読書科指導要領を確認する。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	自己（学校）評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学力の向上	○国語科を中心とした基礎学力の向上	・児童が主体的に取り組むよう、児童と共に単元計画を立てる。 ・校内研究での実践 ・アンケートの実施	・「自分の考えをすすんで表現することができる」「めあてをもち、すすんで学習することができる」でそれぞれ80%以上					
	○教師の授業力向上・指導法の工夫	・一人一台端末を活用した授業 ・課題解決型授業の実践 ・アンケートの実施 ・授業観察 ・週案簿の提出	・「先生の授業はわかりやすい」「タブレット端末を使って調べる・まとめる・伝え合う授業をしている」でそれぞれ80%以上 ・学期に1回実施 ・毎週月曜日提出					
	○読書科の更なる充実	・課題解決型学習への活用 情報収集、活用 思考、表現	・読書科コンクール提出率80%以上 ・「様々な本に親しみ、すすんで読書をしている」で80%以上					
体力の向上	○個のめあてを明確にした授業実践	・めあてカードやタブレットを活用し、個のめあてを明確にする。 ・アンケートの実施	・「自分からすすんで体をきたえることができる」で80%以上					
	○運動に親しむ機会の実践	・なわとびカード・マラソンカード等の活用 ・学期に1回、なわとび集会の実施	・取組カードの活用率80%以上 ・全員の集会参加					
	○健康な生活	・週1回給食後に歯磨きの実施 ・2学期よりフッ化物洗口の実施 ・暑さ指数のチェック ・お便りを通して連絡	・歯磨きの実施は全員 ・月1回給食便りと保健便りの発行					
共生社会の実現に向けた教育の推進	○人権教育の推進	・道徳の授業やなかよし班活動を通して、自分と異なる意見や立場の尊重 ・アンケートの実施	・道徳の授業となかよし班活動はそれぞれ年3回実施 ・「誰とでも仲良く遊んだり協力したりして仕事をすることができる」で80%以上					
	○個に応じた支援体制の充実	・エンカレッジサポーターとエンカレッジ対応教員によるエンカレッジ教室の運営。	・エンカレッジ対応や空き時間を利用した校内巡視の実施率を上げる。					
	○副籍交流の実施	・都立鹿本学園及び対象家庭との交流の仕方の打ち合わせに応じた実施	・各学期1回以上の実施(交流方法は各々異なる)					

不登校・いじめ対応の充実	○不登校未然防止	・SCやSSW等の関係諸機関との連携 ・生活指導夕会で担当や担任からの報告	・理由不明の欠席が0 ・不登校児童とのつながりを100%					
	○いじめ未然防止	・アンケートの実施 ・年3回、いじめ等に関する道徳授業の実施	・「友達の失敗を励ますことができる」「いじめ等があった時は先生に相談することができる」各々で80%以上					
	○一人一台端末を用いた心の健康観測	・L-Gate「毎日の記録」の実施	・実施率90%以上					
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校公開、保護者会、個人面談、運動会、音楽会等学校行事への参観	・1か月に1回程度学校に足を運ぶ機会の設定 ・アンケートの実施	・「日頃の教育活動の様子などについて保護者会や学校たより等でわかりやすく伝えていると思う」で80%以上					
	○学校ホームページやtetoru配信の充実	・学校ホームページを定期的に更新 ・学校便りのtetoru配信	・学校日記は週2回程度更新を行う。 ・学校便りのtetoru配信は毎月実施					
	○学校関係者評価の充実	・児童、保護者、評議員、教職員へのアンケート調査の実施	・アンケートは中間と最終の年2回実施 ・教職員は100%実施 ・児童は90%実施 ・保護者は70%以上の提出					
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・年休や育業等を取得しやすい職場環境 ・見通しをもった仕事の実践	・年休取得15～20日程度の教職員が80%以上 ・毎月の時間外勤務45時間以内が80%以上					
	○金管バンドや三味線等の取組	・金管バンドや三味線の活動を通して本校の伝統文化の継承を進める ・ホームページ等で紹介	・学期に1回、学校便りやHP等で紹介する。					
	○科学教育センター、農園ボランティア、図書ボランティア等と連携した教育活動の実施	・科学センター：4～6年生の希望者を対象に実施 ・農園ボラ：2・3学年を中心に植物の種まき、麦の脱穀等 ・図書ボラ：朝の読み聞かせ、本の紹介等	・「学校に関わる地域の人とから様々なことを教わったり活動したりしている」で80%以上 ・学期に1回、学校便りやHP等で紹介する。					